

施策番号	0808		
施策名	雇用の維持・確保と新たな雇用創出に向けた取組の推進		
概要	働くことを希望するすべてのひとが就業できるよう、雇用・労働行政を担う国や京都府との連携を図りながら、雇用の維持・確保に努めるとともに、新たな雇用の創出に向けた取組を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・商工部	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 有効求人倍率(倍)	-	-	0.58	0.59	0.63	93.7%	b	1.00
2 若年有業者率(%)	-	-	59.1	62.5	61.7	101.3%	a	0.50
3 女性有業者率(%)	-	-	45.9	48.5	47.0	103.2%	a	0.50
4 高齢有業者率(%)	-	-	22.3	23.2	23.0	100.9%	a	0.50
5 京都府の障害者雇用率(%)	-	-	1.77	1.82	1.79	102%	a	0.50
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
			客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1 働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。	6 1.2%	51 9.9%	232 44.9%	155 30.0%	73 14.1%	517	d
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
	市民生活実感調査総合評価						d



- そう思う
- どちらかと言
うとそう思う
- どちらとも言
えない
- どちらかと言
うとそう思わ
ない
- そう思わ
ない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						年度	-	
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	d				
(重み付けの理由)									
当該施策については、若者、女性、高齢者、障害のあるひとを含め、幅広い層の雇用が着実に確保されることが重要であるため、客観指標を重視する。									
(原因分析)									
・客観指標評価は、WEBサイト「京のまち企業訪問」の開設や緊急雇用創出事業の実施等の取組を進めたことも影響し、a評価となり、平成32年に設定した最終目標値を踏まえた現時点での目標に対する進捗は順調に進んでいると捉えることができる。								年度	
・しかし、現在の不景気の影響もあり、市民生活実感評価と客観指標評価との間に乖離があることも否めない。このため、総合評価はB評価となった。								-	

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	ふるさと雇用再生特別事業(産業観光局分)	318,455	334,721	かなり良い	産業観光局
2	緊急雇用創出事業(産業観光局分)	977,059	1,925,865	かなり良い	産業観光局
3	京都企業・就業情報データベースシステムの運営((旧称)「京ナビ～京都就業・企業情報ナビゲートシステム」)	5,234	4,159	かなり良い	産業観光局
4	京都未来を担う人づくり推進事業	12,000	10,723	かなり良い	産業観光局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・今後については、雇用のミスマッチ(不釣り合い)解消に向けた施策を通じて、求職者の雇用ニーズを満たせるように取り組む。
- ・また、景気動向により受ける影響が少なくて済むよう、安定した雇用の維持・確保に向けて、国・京都府との連携を図りながら、各々の施策の効果的な推進に努める。

施策名	0808	雇用の維持・確保と新たな雇用創出に向けた取組の推進																			
指標名	有効求人倍率（倍）																				
担当課	産業政策課		連絡先	222-3325																	
1 指標の説明 京都市内の公共職業安定所における、求人募集企業の求人件数と登録求職者との割合																					
2 指標の意味 働くことを希望するすべてのひとが就業できる社会をめざして、求人と求職の労働需給を示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：求人件数（京都市）／求職者数（京都市） 「年」計算数値であるが「4 数値」欄では「年度」と表記 出典：京都市統計情報																			
4 数値 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>前回数値</th> <th>最新数値</th> <th rowspan="2">推移</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>数値</th> <th>根拠</th> <th>達成度</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>0.58</td> <td>0.59</td> <td>0.01倍増</td> <td>0.63</td> <td>中長期目標達成のために当年達成すべき数値＝平成21年現況値（0.58倍）と目標数値（平成32年1.12倍）から各年の目標数値を等差的に算出</td> <td>93.7%</td> </tr> </table>						前回数値	最新数値	推移	目標値	21年度	22年度	数値	根拠	達成度	数値	0.58	0.59	0.01倍増	0.63	中長期目標達成のために当年達成すべき数値＝平成21年現況値（0.58倍）と目標数値（平成32年1.12倍）から各年の目標数値を等差的に算出	93.7%
	前回数値	最新数値	推移	目標値																	
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度															
数値	0.58	0.59	0.01倍増	0.63	中長期目標達成のために当年達成すべき数値＝平成21年現況値（0.58倍）と目標数値（平成32年1.12倍）から各年の目標数値を等差的に算出	93.7%															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全国順位</th> <th colspan="3">中長期目標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>数値</th> <th>目標年次</th> <th>達成度</th> <th>根拠</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>1.12</td> <td>32年度</td> <td></td> <td>平成13～19年（いざなみ景気）の期間中、一番高かった数値並み</td> <td></td> </tr> </table>						全国順位	中長期目標			備考	数値	目標年次	達成度	根拠	数値	1.12	32年度		平成13～19年（いざなみ景気）の期間中、一番高かった数値並み		
	全国順位	中長期目標					備考														
		数値	目標年次	達成度	根拠																
数値	1.12	32年度		平成13～19年（いざなみ景気）の期間中、一番高かった数値並み																	
5 評価基準		6 基準説明 最新数値の目標値に対する達成度が a : 100%以上 b : 80%以上～100%未満 c : 60%以上～80%未満 d : 40%以上～60%未満 e : 40%未満			7 評価結果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>b</td> </tr> </table>			23	-	-	b										
		23																			
-	-	b																			
指標名 若年有業者率（%）																					
担当課	産業政策課		連絡先	222-3325																	
1 指標の説明 京都市内の15歳以上35歳未満人口に占める若年有業者（15歳以上35歳未満）の割合																					
2 指標の意味 働くことを希望するすべてのひとが就業できる社会をめざして、若年者の就業状況を示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：若年有業者（京都市）／若年者人口（京都市） 「年」計算数値であるが「4 数値」欄では「年度」と表記 出典：総務省統計局「就業構造基本調査」																			
4 数値 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>前回数値</th> <th>最新数値</th> <th rowspan="2">推移</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>14年度</th> <th>19年度</th> <th>数値</th> <th>根拠</th> <th>達成度</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>59.1</td> <td>62.5</td> <td>3.4ポイント増</td> <td>61.7</td> <td>中長期目標達成のために当年達成すべき数値＝平成14年現況値（59.1%）と目標数値（平成32年68.5%）から各年の目標数値を等差的に算出</td> <td>101.3%</td> </tr> </table>						前回数値	最新数値	推移	目標値	14年度	19年度	数値	根拠	達成度	数値	59.1	62.5	3.4ポイント増	61.7	中長期目標達成のために当年達成すべき数値＝平成14年現況値（59.1%）と目標数値（平成32年68.5%）から各年の目標数値を等差的に算出	101.3%
	前回数値	最新数値	推移	目標値																	
	14年度	19年度		数値	根拠	達成度															
数値	59.1	62.5	3.4ポイント増	61.7	中長期目標達成のために当年達成すべき数値＝平成14年現況値（59.1%）と目標数値（平成32年68.5%）から各年の目標数値を等差的に算出	101.3%															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全国順位</th> <th colspan="3">中長期目標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>数値</th> <th>目標年次</th> <th>達成度</th> <th>根拠</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>68.5</td> <td>32年度</td> <td></td> <td>平成9年と19年調査とを比べた増加率を単年化し、目標年次（平成32年）と基準年次（平成19年）の年数差分を掛け基準値に上乗せ</td> <td>5年に一度の統計調査結果を指標に使用しているため、最新数値は平成19年度のものとする。</td> </tr> </table>						全国順位	中長期目標			備考	数値	目標年次	達成度	根拠	数値	68.5	32年度		平成9年と19年調査とを比べた増加率を単年化し、目標年次（平成32年）と基準年次（平成19年）の年数差分を掛け基準値に上乗せ	5年に一度の統計調査結果を指標に使用しているため、最新数値は平成19年度のものとする。	
	全国順位	中長期目標					備考														
		数値	目標年次	達成度	根拠																
数値	68.5	32年度		平成9年と19年調査とを比べた増加率を単年化し、目標年次（平成32年）と基準年次（平成19年）の年数差分を掛け基準値に上乗せ	5年に一度の統計調査結果を指標に使用しているため、最新数値は平成19年度のものとする。																
5 評価基準		6 基準説明 最新数値の目標値に対する達成度が a : 100%以上 b : 90%以上～100%未満 c : 80%以上～90%未満 d : 70%以上～80%未満 e : 70%未満			7 評価結果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	-	-	a										
		23																			
-	-	a																			

施策名	0808 雇用の維持・確保と新たな雇用創出に向けた取組の推進																																		
指標名	女性有業者率 (%)																																		
担当課	産業政策課																																		
連絡先	222-3325																																		
1 指標の説明 京都市内の15歳以上女性人口に占める女性有業者の割合																																			
2 指標の意味 働くことを希望するすべてのひとが就業できる社会をめざして、女性の就業状況を示す指標																																			
3 算出方法・出典等 算出方法：女性有業者（京都市）／女性人口（京都市） 「年」計算数値であるが「4 数値」欄では「年度」と表記 出典：総務省統計局「就業構造基本調査」																																			
4 数値 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th style="width: 15%;">前回数値</th> <th style="width: 15%;">最新数値</th> <th rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">推移</th> <th colspan="3" style="width: 45%; text-align: center;">目標値</th> </tr> <tr> <th>14年度</th> <th>19年度</th> <th style="width: 15%;">数値</th> <th style="width: 15%;">根拠</th> <th style="width: 15%;">達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">数値</td> <td style="width: 15%;">45.9</td> <td style="width: 15%;">48.5</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">2.6ポイント増</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">47.0</td> <td colspan="2" style="width: 45%; text-align: center;">中長期目標達成のために当年達成すべき数値 =平成14年現況値（45.9%）と目標数値（平成32年49.9%）から各年の目標数値を等差的に算出</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">数値</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">全国順位</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">数値</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">目標年次</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">達成度</td> <td colspan="2" style="width: 45%; text-align: center;">根拠</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">数値</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">49.9</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">32年度</td> <td colspan="3" style="width: 45%; text-align: center;">平成9年と19年調査とを比べた増加率を単年化し、目標年次（平成32年）と基準年次（平成19年）の年数差分を掛け基準値に上乗せ</td> </tr> </tbody> </table>					前回数値	最新数値	推移	目標値			14年度	19年度	数値	根拠	達成度	数値	45.9	48.5	2.6ポイント増	47.0	中長期目標達成のために当年達成すべき数値 =平成14年現況値（45.9%）と目標数値（平成32年49.9%）から各年の目標数値を等差的に算出		数値	全国順位	数値	目標年次	達成度	根拠		数値	49.9	32年度	平成9年と19年調査とを比べた増加率を単年化し、目標年次（平成32年）と基準年次（平成19年）の年数差分を掛け基準値に上乗せ		
	前回数値	最新数値	推移		目標値																														
	14年度	19年度		数値	根拠	達成度																													
数値	45.9	48.5	2.6ポイント増	47.0	中長期目標達成のために当年達成すべき数値 =平成14年現況値（45.9%）と目標数値（平成32年49.9%）から各年の目標数値を等差的に算出																														
数値	全国順位	数値	目標年次	達成度	根拠																														
数値	49.9	32年度	平成9年と19年調査とを比べた増加率を単年化し、目標年次（平成32年）と基準年次（平成19年）の年数差分を掛け基準値に上乗せ																																
5 評価基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">最新数値の目標値に対する達成度が</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">目標の達成については、景気の動向に左右される部分が大きいが、目標値を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。</td> </tr> <tr> <td>a : 100%以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b : 90%以上～100%未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c : 80%以上～90%未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>d : 70%以上～80%未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>e : 70%未満</td> <td></td> </tr> </table>				最新数値の目標値に対する達成度が	目標の達成については、景気の動向に左右される部分が大きいが、目標値を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。	a : 100%以上		b : 90%以上～100%未満		c : 80%以上～90%未満		d : 70%以上～80%未満		e : 70%未満																					
最新数値の目標値に対する達成度が	目標の達成については、景気の動向に左右される部分が大きいが、目標値を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。																																		
a : 100%以上																																			
b : 90%以上～100%未満																																			
c : 80%以上～90%未満																																			
d : 70%以上～80%未満																																			
e : 70%未満																																			
6 基準説明																																			
7 評価結果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">23</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">-</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">a</td> </tr> </table>				23	-	a																													
23	-	a																																	
指標名 高齢有業者率 (%)																																			
担当課	産業政策課																																		
連絡先	222-3325																																		
1 指標の説明 京都市内の65歳以上人口に占める高齢有業者（65歳以上）の割合																																			
2 指標の意味 働くことを希望するすべてのひとが就業できる社会をめざして、高齢者の就業状況を示す指標																																			
3 算出方法・出典等 算出方法：高齢有業者（京都市）／高齢者人口（京都市） 「年」計算数値であるが「4 数値」欄では「年度」と表記 出典：総務省統計局「就業構造基本調査」																																			
4 数値 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th style="width: 15%;">前回数値</th> <th style="width: 15%;">最新数値</th> <th rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">推移</th> <th colspan="3" style="width: 45%; text-align: center;">目標値</th> </tr> <tr> <th>14年度</th> <th>19年度</th> <th style="width: 15%;">数値</th> <th style="width: 15%;">根拠</th> <th style="width: 15%;">達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">数値</td> <td style="width: 15%;">22.3</td> <td style="width: 15%;">23.2</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">0.9ポイント増</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">23.0</td> <td colspan="2" style="width: 45%; text-align: center;">中長期目標達成のために当年達成すべき数値 =平成14年現況値（22.3%）と目標数値（平成32年24.8%）から各年の目標数値を等差的に算出</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">数値</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">全国順位</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">数値</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">目標年次</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">達成度</td> <td colspan="2" style="width: 45%; text-align: center;">根拠</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">数値</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">24.8</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">32年度</td> <td colspan="3" style="width: 45%; text-align: center;">基準値（平成19年数値）から過去10年で最も高かった高齢有業者率（平成9年数値）を設定</td> </tr> </tbody> </table>					前回数値	最新数値	推移	目標値			14年度	19年度	数値	根拠	達成度	数値	22.3	23.2	0.9ポイント増	23.0	中長期目標達成のために当年達成すべき数値 =平成14年現況値（22.3%）と目標数値（平成32年24.8%）から各年の目標数値を等差的に算出		数値	全国順位	数値	目標年次	達成度	根拠		数値	24.8	32年度	基準値（平成19年数値）から過去10年で最も高かった高齢有業者率（平成9年数値）を設定		
	前回数値	最新数値	推移		目標値																														
	14年度	19年度		数値	根拠	達成度																													
数値	22.3	23.2	0.9ポイント増	23.0	中長期目標達成のために当年達成すべき数値 =平成14年現況値（22.3%）と目標数値（平成32年24.8%）から各年の目標数値を等差的に算出																														
数値	全国順位	数値	目標年次	達成度	根拠																														
数値	24.8	32年度	基準値（平成19年数値）から過去10年で最も高かった高齢有業者率（平成9年数値）を設定																																
5 評価基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">最新数値の目標値に対する達成度が</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">目標の達成については、景気の動向に左右される部分が大きいが、目標値を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。</td> </tr> <tr> <td>a : 100%以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b : 90%以上～100%未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c : 80%以上～90%未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>d : 70%以上～80%未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>e : 70%未満</td> <td></td> </tr> </table>				最新数値の目標値に対する達成度が	目標の達成については、景気の動向に左右される部分が大きいが、目標値を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。	a : 100%以上		b : 90%以上～100%未満		c : 80%以上～90%未満		d : 70%以上～80%未満		e : 70%未満																					
最新数値の目標値に対する達成度が	目標の達成については、景気の動向に左右される部分が大きいが、目標値を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。																																		
a : 100%以上																																			
b : 90%以上～100%未満																																			
c : 80%以上～90%未満																																			
d : 70%以上～80%未満																																			
e : 70%未満																																			
6 基準説明																																			
7 評価結果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">23</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">-</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">a</td> </tr> </table>				23	-	a																													
23	-	a																																	

施策名	0808	雇用の維持・確保と新たな雇用創出に向けた取組の推進																																					
指標名	京都府の障害者雇用率（%）																																						
担当課	産業政策課	連絡先	222-3325																																				
<p>1 指標の説明 障害者雇用促進法に基づく京都府下の障害者雇用率</p>																																							
<p>2 指標の意味 働くことを希望するすべてのひとが就業できる社会をめざして、障害者の就業状況を示す指標</p>		<p>3 算出方法・出典等 算出方法：被雇用障害者数（京都府）／障害者人口（京都府） 「年」計算数値であるが「4 数値」欄では「年度」と表記 出典：京都労働局調べ</p>																																					
<p>4 数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>前回数値</th> <th>最新数値</th> <th rowspan="2">推移</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>数値</th> <th>根拠</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>1.77</td> <td>1.82</td> <td>0.05ポイント増</td> <td>1.79</td> <td>中長期目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（1.77%）と目標数値（平成32年度2.00%）から各年度の目標数値を等差的に算出</td> <td>101.7%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">中長期目標</th> </tr> <tr> <th>全国順位</th> <th>数値</th> <th>目標年次</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>2.00</td> <td>32年度</td> <td>根拠 京都府の目標と同調。1.8%の法定雇用率を超える、さらに%の大台への上積みを図る。</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 評価基準</p> <p>最新数値の目標値に対する達成度が</p> <p>a : 100%以上 b : 90%以上～100%未満 c : 80%以上～90%未満 d : 70%以上～80%未満 e : 70%未満</p> <p>6 基準説明</p> <p>目標の達成については、景気の動向に左右される部分が大きいが、目標値を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。</p> <p>7 評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>a</td> </tr> </table>						前回数値	最新数値	推移	目標値	21年度	22年度	数値	根拠	達成度	数値	1.77	1.82	0.05ポイント増	1.79	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（1.77%）と目標数値（平成32年度2.00%）から各年度の目標数値を等差的に算出	101.7%	中長期目標				全国順位	数値	目標年次	達成度	数値	2.00	32年度	根拠 京都府の目標と同調。1.8%の法定雇用率を超える、さらに%の大台への上積みを図る。			23	-	-	a
	前回数値	最新数値	推移	目標値																																			
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度																																	
数値	1.77	1.82	0.05ポイント増	1.79	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（1.77%）と目標数値（平成32年度2.00%）から各年度の目標数値を等差的に算出	101.7%																																	
中長期目標																																							
全国順位	数値	目標年次	達成度																																				
数値	2.00	32年度	根拠 京都府の目標と同調。1.8%の法定雇用率を超える、さらに%の大台への上積みを図る。																																				
		23																																					
-	-	a																																					